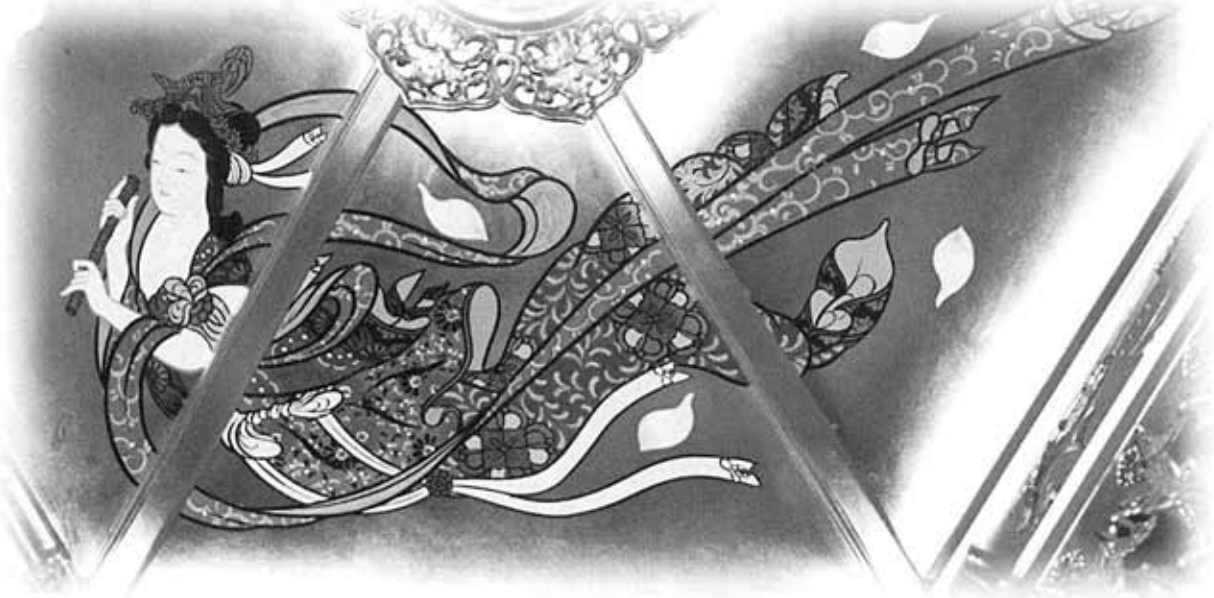


お西さん

1999

5-6



納骨堂 人天蓋の天女の図

「みんなで渡ろう
手を挙げて」

お彼岸も過ぎて、はや四月!! 桜を待つもこれ一夜の夢。函館の春夏は短い。

山口県下関より約三十分の船旅に六連島がある。今より約二百年前「お軽」が生まれた。

夫の心がわりで、二人の子をかかえた。

「かる」はその又一人の子供に苦勞を重ねた。

一四三年前お軽は五十六歳で生涯を終えた。

彼女の残した「うた」は多くある。

名もなく貧しく悲しく生きてゆく彼女に夢があった。

み法の縁に遇えば遇う程、開かれた世界があった。

○娑婆がようても、しばしのあいた

わずか、この世は仮の宿

○おかるおかるとうり起こされて「あい」の

返事もあなたから

○重荷背負うて山坂すれど

御恩思えば苦にならず

○弥陀と衆生は二枚の「びょうぶ」

はなれまいとの「ちようつがい」

○鮎は瀬にすむ小鳥は森に

わたしや六字の中にすむ

とある一休禅師のしたためたものに

「親死、子死、孫死」とある死の連続で不吉と人は言う。

「孫死、子死、親死」ではより、よろこばしい事ではない。

人それぞれに別れ行くが、あらためて考えてみると

めでたき、とらえかたである。

一人一人の旅路は、みんなの旅路でもある。

手をあげてみよう、声をあげてみよう

「ナムアミダブツ」

すばらしく、めでたき言葉である。

ふれあいの寺 本願寺函館別院

函館市東川町12番12号 ☎(0138)23-0647

たしなみ

一日一日(その日その日)は仏法にたしなみ候ふべし、一期(一生)とおもへば大義(めんどう)なりと、人申され候ふ。

またいはく、大義なると思ふは不足なり、人として命はいかほどもながく候ひても、あかずよろこぶべきことなりと云々。

浄土真宗の門徒として、朝のおつとめを「たしなみ」にしては如何でしょうか。世間の荒波に揉まれる中で、朝の清々しい一時をお寺で過ごしてみましよう。

《朝のお勤め、5月より 午前6時30分より》

5月23日(日)は降誕会のため、月忌参りをお休みさせていただきます。
是非、ご本堂へご参拝下さい。

ふれ愛 声ランド



「名画の作者」

湯浜町の川瀬さんのお宅には、玄関や部屋にいくつもの油絵が飾ってあります。風景画や中には函館大火のときの絵もあり、以前から気になっていたんですが、先日お母さんにお話を聞かせて頂き、これらは全て亡くなったお父さんが書かれたそうです。「亡くなってからも、これらの絵をみているとすこしは悲しみもやわらくんですよ。」そして以前函館の美術館にも出展したこともあるそうです。今お一人で暮らしていらっしやるお母さんにとって、これらの絵や思い出、そして年に何度か来られるお孫さんや何日も前から楽しみにしているお話のときのお顔が本当にうれしそうで、聞いているこちらまでうれしくなります。これからもお体を大切に、いろいろなお話を聞かせてください。

(神田)

「親の思いはいつまでも…」

千歳町で畳屋さんを営んでいる石山さん。お孫さんの大学受験が終わり、志望校に合格されたとのこと。おめでと〜ございませす。ご自宅に

伺う度に、お孫さんのことをご心配されていましたね。そのお気持ちもご家族の皆様の暖かい励みとお孫さんご自身の精進が見事実った春を迎えられたこと本当によかったですね。ですが、ご家族の皆様のご心配はまだまだつづき、今度はお孫さんの一人暮らしでの健康維持のことや食べ物のこと、物価の違いや生活習慣の違いなど、家族が子に懸ける想いはずうつとつづくのですね。今更ながら親のありがたみがしみじみと心に響いてまいりました。久し振りに九州の実家に電話でもかけて、親父と話してみようかなと思ったことでした。

(黒田)

「家族全員」

今回は日吉一丁目の阿曾沼さんを紹介させて頂きます。阿曾沼さんは現在、息子さんとお二人でお住まいですが、私がお伺いしますとよくお孫さんが遊びにきています。そんな時は家族全員で私と一緒に勤めを上げてくださいます。また亡くなったご主人の祥月命日には必ず皆様でお寺まで足を運び永代経のお勤めにお参りくださいます。とてもありがたいことです。お参りというものは私自身がするものです。私

自身が仏さまと向かい合うという事です。阿曾沼さんのご家族をみていますとその事を強く感じずにはおれませんでした。

(石黒)

「不思議なご縁」

この度、別院のご門徒になられました、上新川町の尾池さんのお宅にお参りさせて頂きました。おつとめの後いろいろとお話を聞かせて頂きますと、驚いたことに、何十年前のことがあり、私の実家のお寺にお骨を預けられていたことがあり、何度もお参りされたことがあるということなのです。私の祖父や祖母のこともよく覚えておられ、当時のことを懐かしそうにお話ししてくださいました。

私が別院におつとめさせて頂き、たまたま上新川町が私の担当地区だったということで、祖父がお参りさせて頂いていた御門徒さんのお宅に、五十年六十年とたった今、又私がお参りに伺っているという、何とも不思議なご縁であります。偶然とは言いがたも、仏さまにおつくり頂いたこの不思議なご縁を大切に有り難く感じることでした。私たちの毎日にも、ひよっとすると気付かないだけで不思議なご縁が沢山あるのかもしれない。

(吉村)

「伝わる想い」

「お母さん お誕生日 おめでと〜 愛しています」

東川町の黒田さん宅に飾ってある色紙に書かれていた言葉です。実はこれは神奈川県に住んでいる娘さんから贈られたものなのだそうです。黒田さんの娘さんは、週に三・四回手紙を送ってくれるそうで、両親を気遣う優しい言葉や、身の回りの出来事をうたったもの、時には

南無の会 「辻説法」 に参加して

4月11日に五稜郭斎場で行われた「辻説法」に参加された方々の感想を聞いてみました。

○人は仏の教えにあうことによつて育てられるものということを知り、辻説法だけではなく、日頃から教えの説かれるお寺参りをしなければならぬと思ひました。

○世の中は科学技術の発達によつて、夢や希望をもたらししてくれるが、この中には人の欲がある。仏様の話を聞いて、科学技術では得ることができない何かがあることを感じました。

○どこから来て、どこへ行くのか解らない私のいのち。このいのちの尊さを聞き、お互いに生かされているのだと思ひました。

お孫さんが描いた絵であつたり…。

娘さん、お孫さんが丁寧に手書きされた八ガキ一枚にとても温かい思いが伝わってきます。電話でのやりとりが日常の今、手紙というものからすっかり離れてしまっている私達ですが、「ふつと思つたときに読み返してみる…。」
「変わらぬ温もりがそこらいつも…」
という手紙の良さを改めておしえてもらった気がします。きちんと整理された八ガキのファイルを開いて、嬉しそうに教えてくださる黒田さん。きつと、何にも変えがたい大切な宝物なんですよ。

(小笠原)

「昼めし時に伺いまわ」

今回は神山三丁目の佐藤さんを紹介させていただきます。私がお伺いする時いつも昼御飯を用意して下さいます。家族のみなさんがそれぞれお仕事をもちのため大変忙しいそうです。そのあいだを縫って一緒に話しながら食事をいただけてきます。とても明るくとても暖かい家族のみなさんのおかげで、独身の私にとって大変楽しい時間を過ごさせて頂いています。本当に暖かいご飯いつもありがとうございます。

(山岸)

「家内」

豊川町にお住まいの沼館さんの奥さんが、往生の素懐を遂げられました。いつ、お伺いしても夫婦そろってお勤めしていた姿を思い出しますと、本当にさみしい限りです。そんな中、中陰のお参りにお伺いしますと旦那さんがお洗濯をされています。「大変ですね」と声を掛けますとこんな事を言っておられました。「今までは、家内がしてくれていた掃除も料理も洗濯も

本当に大変なことだったんだな」と。この言葉の中から奥さんに対する深い感謝の気持ちが見えてくる感じが致しました。そこに「有る」という事は本当に「難しい」。これを「有り難い(ありがたい)」と仏教では申します。まさしくその有り難さに気付かれた尊い奥さんの御縁だったかと思えます。私もその有り難い御縁に触れさせていだきまた一つ心あたたまる思いでした。

(高倉)

「心に希有の花」

あるご門徒様の月忌参りへ伺ったとき、部屋の片隅に葉がしおれたり茶色くなっている蘭君子蘭が四鉢あつた。その訳をたずねてみると、昨年十一月の寒波があつたときに、庭先に出して被覆を受けたということだつた。哀れな姿になった蘭を見て、悔しい思いをされたことだろう。蘭の花を咲かせるには、季候のよい時期には庭先に出して、十一月頃にシバれない程度の寒さを三回ほど体験させてから、玄関内に十日ほど置くそう。それから室内の方へ移して、徐々に環境を変えなければならぬ。シバれそうな厳しい体験や緩やかな環境の変化を与えることによって、美しい花を咲かせるという。この話を伺って、人間の成長についても同様のことが言えるような気がした。厳しい環境にさらされる事なく、周囲の手厚い加護によって平々凡々と日々を送っていると、胸のうちには美しい花を咲かせることなく、人生の終焉を迎えることになるだろう。私は、浄土真宗の僧侶として阿弥陀如来の願いを、親鸞聖人をはじめ有縁の方々より聞かせていただき、心に希有の花を咲かせ、ご門徒の皆様方とともに味わってみたいと思つた。

(野川)

「おばあちゃんの健康法」

桔梗町にお住まいの遠藤さんのおばあちゃん五月で、九十二歳になられるそうです。こんな言い方をしては失礼ですがご高齢にしては、かなりお元気です。お寺へもよくお参りされ、お寺へ来られるときも一人でバスや電車で乗って来られます。桔梗町から東川町のお寺まで遠いのですが一歩一歩ゆっくりとお寺までの道を来られることかと思つています。これからもお元気に気を付けてお寺にきて下さいね。最近忙しいから、遠いから、まだお寺にいく歳でないからとお寺へお参りされる方が少なくなつたように思つています。皆様も是非お寺にお参りして下さい。

(廣澤)

○お寺の二門の話を知り、これからは興味を持ってお寺参りが出来るような気がしました。

○今までお仏壇の仏様やご先祖様に手を合わせて、何か自分が「供養」しているように思つていましたが、実は私自身が仏様に「供養」されていると「言」つことが解りました。

「部の方々の感想だけが聞くことが出来ませんでした、それぞれの味わいがあったことと思つています。

次回は六月二十九日(火)午後二時より白雲殿で開かれます。どうぞご参加下さい。

乙女のつばやき

(事務員日記)

最近、気温の変化が極端すぎて、また風邪が流行っているようです。さて、4月1日、ご門徒の皆様のお陰により制服が新しくなりました。4年近く大事に大事に着ていたつもりだったのですが、色々な所でガタが来て居まして…、本当に有り難うございました。それと今お寺で育てているミニ薔薇の鉢植えですが、育て方がいまいちよくわからず困っています。どなたか薔薇の育て方を教えて下さい。よろしくお願ひします。(小池)



「ありがとうございます」

府宗野 美代

此の三月一杯で十五年勤めさせて頂いた頂きました別院を退職いたしました。と申しまして、正式職員としての退職で、四月から嘱託としてもう少しの間お世話になる事となりました。

今迄皆様のお陰で何とかご返勤めて来られた事に深くお礼を申し上げますと共に、これからもよろしくお願ひ致します。

会員募集

来たれ! 青年会

みんなて
焼きそばを
作ろう!

青年会では今、一緒に焼きそばを焼いてくださる方を募集しています。まあ、焼きそばは年2回くらいです。青年会は月1回の会合(勉強会、キャンプ、スキー等)その他お寺の行事のお手伝いなどです。会費は6,000円です。楽しい会ですので皆さん一度見に来て下さい。(石黒)



壮年会

毎月定例会15日、午後7時より開催しています。その他にもゴルフコンペや1日研修会、ビールパーティ等を企画中!!楽しく学ぶ壮年会へ是非ご入会下さい。(黒田)



ボーイスカウト



野外活動を通じ、感謝と奉仕の精神を養い、情操豊かな青少年の育成に若い指導者が心血を注いでいます。男・女不問。一度遊びにいらしてください。お子さんの目の輝きが違ってきます!
対象年齢、小学1年生より
(黒田)

お坊さんが読んでいるお経を味わってみよう

仏教に学ぶ会

浄土真宗が、よりどころとしているお経(仏説無量寿経・仏説観無量寿経・仏説阿弥陀経)は、お坊さんが日常的に読んでいますが、難しいものと思いませんか。そうではありません。お浄土の様子や人の様子を色々な方法で示し、人が極楽浄土へ生まれるための、因となり縁となっているものです。

開催は毎月28日の午後6時30分から、
函館別院(西別院)にて

★体験入会OK!★ときどき参加OK!
(野川)



寛信尼会(若妻会)

婦人会の中でも若い奥様方を対象に活動しています。お寺の行事への参加、毎月第1火曜日に例会(勉強会)をしております。郊外研修や市内散策、料理教室や押し花教室など色々な活動をしております。現在会員の方は13名と少し少ないのでぜひ皆様ご参加下さい。(吉村)

婦人会

婦人会といえばお寺の顔!婦人会が元気だとそのお寺も元気になります。毎月23日の例会では、みんなで仏様のお話を聞き、夏には日帰り温泉旅行で交流の輪を広げています。皆さんもお寺の“元気の素”になりませんか?(小笠原)



教えてお寺さん!!

Q&A コーナー

檀家さん
ご質問に
お答えします

Q 毎年年度変わりにお寺さんが維持費のカードを持てきます。月参りのお布施はお渡ししておりますが維持費は何に使われているのでしょうか?

A 別院では月忌参りや御法事等でお布施を頂いておりますが、元々お布施とは布施行という行いの1つです。自らの財物を施する財施と言い、ひたすらに阿弥陀如来のお救いを慶び感謝するお気持ちの1つです。ですからお布施には相場もなく、多いも少ないもありません。しかしながら、お布施だけでは別院の維持運営管理が難しいため、その足りないところを維持費というご懇念でご門徒のみな様にご協力頂いております。その用途の主なもの本堂、文化会館等の護持、修復にかかる維持費や水道光熱費。またお盆や報恩講などの法要行事でお供えするお花やお香、口ウソク代、盆踊り、慶びの広場等での模擬店など法要関係費、そして壮年会、婦人会、青少年ボーイスカウト等の教化活動費などです。ご門徒みな様の力でお寺は護持運営されています。みな様にご協力いただいた維持費は職員一同、節約につとめ無駄にせぬよう努力して参りますので、これからもよろしくお願い致します。

全国仏教壮年会議研修会に 参加して(講演の中から)

梶原 佑倅



●いかに阿弥陀様に惚れ込んでいるか。一番多くの人がお寺にお参りに来ていたというそのご住職は毎日内陣に座って、夏にはうちわで阿弥陀様を扇いで「阿弥陀様お暑かろうのう」と語りかけていたと言う。学問、知識ではなく「弥陀たのむ」の信こそが大切であり、合掌懺悔の日暮らしでありたいものです。

●ネパールに近い国、ブータンへ旅した時、実におだやかな人々の生活に驚いた。何より犬が吠えない。どの犬も実にゆったりとしていて恐がらない。楽園を見た。しかし段々にテレビ等西欧の文化という名の魔物が入り出して来ていて、今までのようにはいかないことだろう。便利、科学万能、何か今一度反省したい。

●差別のない社会の実現に努力しよう。(文化の高低は差別がないこと)部落問題、未だ300万人という。その80%に近い数字で本願寺系は関わりを持っている。明るい社会の実現、差別なき民、信仰とともに大切な事である。親鸞聖人は「あなづるころ、ゆめゆめあるべからず」と申されました。国家間、教育の現場、障害者に対し各個々人が深く思いを致したいものです。

●南無阿弥陀仏。わずかこの六字ではあるけれども、この中には親鸞聖人の御一生、御苦勞が全て入っている。大經の全てが収まっている。真実の尊い尊い六字である。決して軽く扱ってはいけない。人から後ろ指さされることのないよう、門信徒は自ら厳しく生きてほしい。

親鸞聖人のお誕生を お祝いするお慶びの法要

平成11年
宗祖聖人

降くだり

誕たん

会え

5月 22日 土曜

- ◆午後1時
降誕会法要・法話
(本堂にて)
- ◆午後2時頃
門信徒 慶びの広場

バザー・抽選会開催 (文化会館1Fにて)

5月 23日 日曜

- ◆午前10時
園児参拝(本堂にて)
- ◆午前11時
初参式(本堂にて)

龍谷幼稚園バザー ◆午前11時頃(園内にて)



お問い合わせ

本願寺函館別院

函館市東川町12番12号
電話23-0647

◆16日会 平成10年度決算◆

取 入	金 額	支 出	金 額
前年度繰越金	380,910	賄 費	162,568
会 費	252,400	通 信 費	12,500
法友会より寄付	2,000	交 通 費	12,500
別院より助成金	50,000	新年会経費	88,330
大光寺より	5,000		
預金利息	848		275,898
小 計	691,158	小 計	
		次年度繰越金	415,260
合 計	691,158	合 計	691,158

中央仏教学院 通信教育生 **募集**

人生の地図を
ポケットに

気軽な感覚でお寺で勉強会
そんな感じの通信教育今始まる新たな一歩です。

お問い合わせは別院まで

お西さんテレフォン法話



にしにし 0138 27局 2424番

24時間お好きなときにいつでもどうぞ



- 5月 2日(日)～5月 8日(土)…小笠原
- 5月 9日(日)～5月15日(土)…黒田
- 5月16日(日)～5月22日(土)…布教使
- 5月23日(日)～5月29日(土)…山岸
- 5月30日(日)～6月 5日(土)…吉村
- 6月 6日(日)～6月12日(土)…高倉
- 6月13日(日)～6月19日(土)…石黒
- 6月20日(日)～6月26日(土)…布教使
- 6月27日(日)～7月 3日(土)…廣澤

ミッキークラブ

お母さんがお仕事を持っておられる方、
急に一日用事で出かける方、
安心してお出かけ下さい。

ミッキークラブでおあずかりします。

対象

担当

龍谷幼稚園生並びに 古澤 妙子先生
2歳以上の弟妹 (元龍谷幼稚園主任)

お問い合わせは 龍谷幼稚園 ☎23-0274
ミッキークラブ ☎27-4304

●五月 二十九日(土)
(午後一時三十分より)
●六月 二十六日(土)
(午後一時三十分より)
会場 日吉町熊谷宅にて
お問い合わせ ☎(0138)54-68859

土曜の会へ行こう

※なお、毎月十六日は、十二時半より
文化会館1Fにて十六日会です。

会場 当院本堂にて
十一月 職員法話
十二月 布教使
十五日 輪番法話
十六日 輪番法話 (午後1時30分より)

(6月) 山口教区 柳井組 明教寺 隆野 正信 師
(5月) 東北教区 福島南組 圓寺寺 木村 正明 師

ようこそ常例布教へ

浄書(写経)の会

- 五月 三日(月)
- 六月 七日(月)

※現在は讃佛閣の写経を行っています。
初めての方もどうぞ参加下さい。

会場 別院内堂

永代経懇志
ありがとうございました。

おくやみ申しあげます。

編集後記

▼ ようやく春らしくなって参りました。春は何かと慌ただしいですね。長男が幼稚園に入園するためのいろいろな準備やら、各教化サークルの年度初めの会合やら、往く人来る人、出会いと別れの季節でもあります。今年度はどんなハプニングが待っているのやら…。前途多難の兆しの中自然は着々と季節を巡らしているのですねエ…。(黒田)

▼ 先日お門徒さんの仏壇の中で桜の花を見ました。「こんな時期に珍しいですね」とお聞きしますと、五稜郭公園の桜並木の剪定して切り落とした枝をお友達が持ってきて下さるそうです。なるほど桜はある程度枝を切った方が見事に咲くと聞きますが、切り落としした枝も縁があればこんなに見事に花をつけるのだなと大変感動致しました。(高倉)

▼ 先月ある結婚式に出席する機会がありました。男性も女性も皆きれいに着飾って出席されておられました。どんな人間もどんな職業の人も正装し着飾る場所があります。私達もそうですが、最近着飾ることにばかり目がいき、中身の無いものになりがちではないでしょうか。中身がしっかりしてなければどんなきれいなメッキも色あせてしまいます。普段の生活の中で着飾ることの意味、正装することの大切さを感じたことでした。(廣澤)

お便り
大募集



仏教に関するご質問等、どんなことでも結構です。お西さんにてお答えしますので、編集部迄お手紙でお寄せ下さい。又詩・短歌・俳句・マンガ等も募集しています。どうぞ、お気軽にお便り下さい。

お問い合わせ ☎(0138)23-06647



龍谷幼稚園 で〜す



入園式

丹下 涼子先生



龍谷幼稚園も新年度が始まり、今年もまたかわいいお友達が仲間入りです。

入園式には、おうちの方々と一緒に登園し元気な姿を見せてくれました。

入園式には、み仏様へのお参りから始まります。お香のにおいの中、在園児たちは、お兄さんお姉さんになったという自覚が、立派におつとめをはたし、頼もしく見えました。新入園児たちは、「泣いている子」「キョロキョロあたりを見回す子」「お母さんの所へかけよる子」「ガチガチに緊張している子」など、様々な表情が見られました。さあ!みんな出発です。子どもたちのパワーに負けないように、私たちも精一杯頑張っていきます。

